

くじゅうタデ原湿原の植生

植物群落を取りまとめて「植生」といいます。ある地域の植生（植物群落）を調査し、群落の植生資料を組成表にまとめ、植物の種類を“あるなし”によって区分種を取り出し、植物群落を分類します。それぞれの植物群落の分布を地図に示したものが「植生図」です。

タデ原湿原は、くじゅう山群指山・湯沢山の西ろく、飯田高原の上辺標高約1,000mの窪地で、指山湧水・湯沢湧水などによって湿原化し、白水川による土砂の堆積を繰り返してきました。



くじゅうタデ原湿原の現存植生図



タデ原湿原全景(沓掛山から)



ヨシーエゾミソハギ群落
安定したヨシ湿地群落。エゾミソハギ、ヒメシダなどを伴う。



ヨシーアカバナ群落
ヨシ水沢地の周辺で湧水水流辺の群落。アカバナやセリ、ミゾソバなどを伴う。



白水川で侵食されたタデ原湿原の泥炭層
(泥炭層は黒い部分で灰白色の部分は堆積した土砂によって縞状の層をなしている)



ヨシ・ヌマガヤーヒメミズゴケ群落
水沢地周辺の湿地でヒメミズゴケが密生し、ヨシやヌマガヤが結びつく。



ヨシーフトヒルムシロ群落
湯沢湧水と指山湧水とに滴養されたヨシ水沢地。種類数は少なく、フトヒルムシロが水に浮いている。



ヌマガヤーシカクイ群落
指山一帯の表層水で滴養される谷沿いの湿地群落で、ヌマガヤが優占種となってシカクイ、ムカゴニンジン、サワギキョウなどが結びつく。湿地の希少植物が多い。



ノリウツギ林
湿原を取り巻く一帯はミズナラやノリウツギの林で、ススキ草原や湿地にはノリウツギが侵入し、密生するノリウツギ林となり、しだいに森林化が進んでゆく。



ススキトダンバ群落
湿原の小高い乾いた所を生育地とし、ススキやネササなどが群生する。



指山湧水
指山からの湧水。湿原の東側を流れ、中ほどで湯沢湧水と合流してヨシ水沢地をつくる。

「タデ原湿原の現存植生図」
現在生育しているヨシ群落、ヌマガヤ群落、ススキ群落、ノリウツギ林やミズナラ林などの植生分布です。ヌマガヤ群落には北方寒冷地の植物が多く見られます。その植生分布から、タデ原湿原の自然環境の違いや特性を知ることができます。